

事業評価シート（平成25年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	農業理解促進事業		
事業担当	産業振興部 農水産課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'04	基本目標4 活力とにぎわいに満ちたまち	
	'02	②〈熟成〉市民の豊かな暮らしに貢献できる産業として成熟させる	
	'01	1 市民が身近に感じられ、生活に密着した産業を展開する	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	
委託・協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 生産農家】		
	目的・目標		事業の概要
生産者と消費者のふれあいの創出と地域経済の活性化が図られるとともに、農業に対する理解と認識が深まっています。		農業理解を深めるため、農業体験、生産者との交流事業、地場産品のPRイベント等を実施します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	地産地消に向けたイベント開催回数			単位	回
	説明・算定式					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標	4	6	7	7	
	実績	8	8	8		
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標					
	実績					
成果指標①	指標名	農産物直売所販売額(年間)。(平成24年度から平成25年度まで)			単位	千円
	説明・算定式	JA支所併設の直売所や大型直売所における年間販売額により、地場産品の消費拡大の状況を示す				
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標		587100	604200		
	実績		690000	720000		
成果指標②	指標名	地産地消に向けたイベント来場者数(平成26年度から)			単位	人
	説明・算定式					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標				42000	
	実績					
進捗状況	①：予定どおり					
	遅れている理由					
平成25年度の主な取組と成果						
生産農家等との協働により、農業体験や収穫祭、即売会、花育イベント等、生産者と消費者が直接ふれあう機会を創出しました。市内の農産物直売所では販売が好調で、生産者を身近に感じる販売形態が確立しています。また、平塚産農産物PRキャラクター「ベジ太」の着ぐるみが完成し、地産地消を推進する体制の強化が図られました。						
平成25年度の検証結果	A：成果があがった					

項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価	
事業分析	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	地場産品に対する情報提供への市民ニーズがあり、体験イベントや即売会等を開催して、地産地消を進める必要があります。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	農業体験等を開催し、生産者と消費者が接する機会をつくるとともに、安全で安心な地場産農産物をPRしていくことは、地産地消や食農教育に有効であるため、継続して事業実施していきます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	農業体験学習では、傷害保険料及び諸費用として、参加費を徴収しており、受益者負担の視点から妥当です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	生産者と消費者が接する機会をつくり、地産地消を推進するため、生産者の参画をすすめながら事業の充実を図ります。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析 農業に対する市民の理解と認識を深めるためにも、生産農家等との協働による農業体験や収穫祭、即売会、花育イベント等、生産者と消費者が直接ふれあう機会の創出が求められています。また、新たな試みを導入するなど、事業の充実を図る必要があります。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 予算額
事業内容		PRイベントの開催、新支援制度の施行等	農業体験、生産者との交流事業、地場産品のブランド化やPR	農業体験、生産者との交流事業、地場産品のブランド化やPR	農業体験、生産者との交流事業、地場産品のブランド化やPR
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	891	1,970	2,474	1,860
事業費 (A)		891	1,970	2,474	1,860
執行率 (%)		79.98	100.00	99.24	
内訳	職員 (人)	2.26	2.23	1.36	1.51
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		18,316	17,874	10,810	11,798
フルコスト (A+B)		19,207	19,844	13,284	13,658

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成27年度の取組方針 平塚産農産物PRキャラクター「ベジ太」の着ぐるみ等新たな広報ツールを活用し、各種イベントの開催、平塚産農産物のPR活動、食農教育の推進などの事業を継続的に実施し、農業理解を推進していきます。また、販売促進及び販路開拓のため、6次産業化や産業間連携事業を進め、地産地消を促進していきます。
課長コメント 関係団体等と連携しながら各種イベントを開催することにより、農業に対する市民の理解を深めます。平塚産農産物PRキャラクター「ベジ太」の着ぐるみが完成するなど地産地消を推進する体制の強化が図られたことから、今まで以上に効率的・効果的に事業を展開していきます。